



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	21,642	61.8	△515	—	△565	—	△572	—
27年3月期第3四半期	13,373	30.9	△311	—	△396	—	△422	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △580百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △424百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△1.98	—
27年3月期第3四半期	△1.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	7,756	6,449	84.8	22.71
27年3月期	8,205	7,153	87.1	24.66

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,578百万円 27年3月期 7,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,700	57.1	400	—	330	—	160	—	0.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	289,747,982 株	27年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	95,282 株	27年3月期	94,119 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	289,652,912 株	27年3月期3Q	289,655,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算短信に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和策を背景に雇用情勢や企業収益の改善等、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、中国を始めとした海外景気の下振れ懸念等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、4月半ば以降、米国利上げ時期の予測が後退したこと等を要因に緩やかに上昇したものの、需要の減退懸念やドル高等を背景に総じて軟調に推移いたしました。プラチナ価格は、中国経済の減退及び原油価格の下落等を背景に軟調に推移いたしました。宝飾市況においては、個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続等、富裕層を中心に住宅購買意欲は回復基調で推移いたしました。機械市況において、内需は、政府による設備導入補助金等の投資促進策の影響から6、7月の受注環境は堅調に推移したものの、その後は、補助金による受注の反動減により伸び悩んだこと等から、厳しい状況の下推移いたしました。外需は、中国市場の需要減少に加え、北米市場の不振等、中古工作機械業界においても厳しい状況の下推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,642,181千円(前年同四半期13,373,335千円)、営業損益は515,712千円の損失(前年同四半期311,395千円の損失)、経常損益は565,457千円の損失(前年同四半期396,343千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は572,792千円の損失(前年同四半期422,118千円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は18,816,665千円(前年同四半期10,453,389千円)、営業損益は31,697千円の損失(前年同四半期72,970千円の利益)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は1,465,191千円(前年同四半期1,181,412千円)、営業損益は20,180千円の損失(前年同四半期81,773千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は249,829千円(前年同四半期364,181千円)、営業損益は8,164千円の損失(前年同四半期244千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は1,105,449千円(前年同四半期1,337,257千円)、営業損益は129,653千円の損失(前年同四半期20,375千円の利益)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は49,785千円の損失(前年同四半期6,178千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より448,778千円減少し、当第3四半期末は、7,756,338千円となりました。

増加の主なものは販売用不動産の増加(129,808千円から305,697千円へ175,888千円の増加)、仕掛品の増加(177,287千円から366,904千円へ189,617千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(1,176,815千円から704,720千円へ472,095千円の減少)、預け金の減少(1,759,811千円から1,554,211千円へ205,599千円の減少)であります。

当第3四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より256,063千円増加し、当第3四半期末は、1,307,297千円となりました。

増加の主なものは、短期借入金の増加(53,640千円の増加)、デリバティブ債務の増加(283,663千円の増加)であります。

減少の主なものは、長期借入金の減少(528,660千円から423,900千円へ104,760千円の減少)であります。

当第3四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より704,842千円減少し、当第3四半期末は、6,449,041千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少(△5,600,083千円から△6,172,876千円へ572,792千円の減少)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに大きく乖離しているものの、今後の貴金属価格の動向により業績は大きく影響を受けるため、連結業績予想の修正は行っておりません。確定次第速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

「企業結合に関する会計基準」等の適用については、「企業結合に関する会計基準」第58 - 2項(4)、「連結財務諸表に関する会計基準」第44 - 5項(4)及び「事業分離等に関する会計基準」第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176,815	704,720
売掛金	57,310	44,865
商品及び製品	1,167,293	1,037,681
仕掛品	177,287	366,904
原材料及び貯蔵品	7,670	32,829
販売用不動産	129,808	305,697
仕掛不動産	329,518	329,518
預け金	1,759,811	1,554,211
その他	38,245	103,398
流動資産合計	4,843,762	4,479,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,391,685	1,394,038
減価償却累計額	△499,774	△551,716
建物及び構築物（純額）	891,911	842,321
機械装置及び運搬具	526,392	520,298
減価償却累計額	△436,921	△417,254
機械装置及び運搬具（純額）	89,470	103,043
土地	1,691,391	1,691,391
その他	111,885	112,385
減価償却累計額	△100,011	△101,229
その他（純額）	11,873	11,155
有形固定資産合計	2,684,645	2,647,912
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	8,002	7,092
無形固定資産合計	373,002	372,092
投資その他の資産		
投資有価証券	142,319	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	140,259	136,451
その他	11,923	8,903
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	303,706	256,506
固定資産合計	3,361,355	3,276,510
資産合計	8,205,117	7,756,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,435	24,898
短期借入金	—	53,640
1年内返済予定の長期借入金	139,680	147,680
未払金	41,036	41,845
未払法人税等	37,169	16,523
デリバティブ債務	—	283,663
その他	45,708	56,536
流動負債合計	282,030	624,786
固定負債		
長期借入金	528,660	423,900
長期末払金	—	21,410
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	3,953
預り敷金保証金	22,063	21,454
繰延税金負債	25,979	23,173
資産除去債務	185,467	188,619
固定負債合計	769,203	682,510
負債合計	1,051,233	1,307,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△5,600,083	△6,172,876
自己株式	△31,119	△31,153
株主資本合計	7,150,861	6,578,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,928	—
その他の包括利益累計額合計	△6,928	—
非支配株主持分	9,950	△128,993
純資産合計	7,153,883	6,449,041
負債純資産合計	8,205,117	7,756,338

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）
売上高	13,373,335	21,642,181
売上原価	12,612,009	21,110,207
売上総利益	761,326	531,973
販売費及び一般管理費	1,072,722	1,047,685
営業損失（△）	△311,395	△515,712
営業外収益		
受取利息	121	85
国庫補助金収入	20,138	9,770
保険金収入	2,061	8,564
その他	3,250	5,772
営業外収益合計	25,571	24,192
営業外費用		
支払利息	9,241	6,858
休山管理費	88,875	60,155
その他	12,402	6,923
営業外費用合計	110,519	73,937
経常損失（△）	△396,343	△565,457
特別利益		
固定資産売却益	—	148
特別利益合計	—	148
特別損失		
固定資産除却損	963	0
固定資産売却損	—	519
投資有価証券売却損	—	12,066
特別損失合計	963	12,585
税金等調整前四半期純損失（△）	△397,307	△577,894
法人税、住民税及び事業税	16,554	12,823
法人税等調整額	△3,757	△2,806
法人税等合計	12,797	10,017
四半期純損失（△）	△410,104	△587,912
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	12,013	△15,119
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△422,118	△572,792

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△410,104	△587,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,216	6,928
その他の包括利益合計	△14,216	6,928
四半期包括利益	△424,321	△580,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△436,335	△565,864
非支配株主に係る四半期包括利益	12,013	△15,119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	10,453,389	1,181,412	352,158	1,337,257	24,620	5,180	19,317	13,373,335
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	12,022	—	—	—	—	12,022
計	10,453,389	1,181,412	364,181	1,337,257	24,620	5,180	19,317	13,385,358
セグメント利益又は セグメント損失(△)	72,970	△81,773	△244	20,375	6,178	△40,116	△10,743	△33,352

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	13,373,335
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△12,022	—
計	△12,022	13,373,335
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△278,042	△311,395

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に企画開発関連を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△278,042千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△278,042千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	18,816,665	1,465,191	237,807	1,105,449	△26,562	—	43,629	21,642,181
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	12,022	—	—	—	—	12,022
計	18,816,665	1,465,191	249,829	1,105,449	△26,562	—	43,629	21,654,203
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△31,697	△20,180	△8,164	△129,653	△49,785	—	6,848	△232,633

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	21,642,181
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△12,022	—
計	△12,022	21,642,181
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△283,078	△515,712

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△283,078千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△283,078千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。